令和元年 12 月 5 日発行　毎月 1 回 5 日発行　オイスカ通信 672 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

FURUSATO！ 12 月号

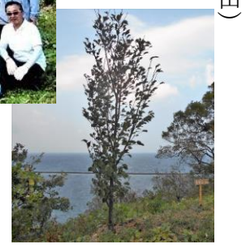
～オイスカ四国のふるさとづくり～

森林整備ボランティア活動を実施しました

11月10日(日)、四国支部は、香川県まんのう町「尾の瀬山 オイスカ憩いの森」ヤマザクラ植林地で下草刈り活動を実施しました。個人会員とJR四国労働組合や大倉工業(株)はじめ、協力企業・団体からも参加いただき、素晴らしい秋空の下110名の方が作業してくださり無事に活動を終えることができました。なお、開会式では四国電力総連より組合員の皆様が集めてくださったインクカートリッジとベルマークを寄贈いただきました。

活動後は、温かいうどんとオニギリを食べていただき、「おいしい。おいしい。」とお代わりをする方もおられました。うどん・出汁・天ぷら、それぞれ提供くださった皆様に御礼申し上げます。

平成22年度から5ヵ年計画で松枯等で荒廃した「尾の瀬山」に毎年0.5ha 1,500本、合計2.5ha 7,500本のヤマザクラ植林を実施し、平成28年度からは下草刈りを中心とする手入れを行っている「尾の瀬山 オイスカ憩いの森」。少しずつ「憩いの森」となりつつあります。



11月11日(月)、愛媛県推進協議会は松山市「忽那山」サクラ植林地でサクランボ植樹と草刈り活動を実施しました。個人会員と愛媛トヨペット(株)はじめ協力団体からも参加いただき、21名の方が2時間余り作業してくださり無事に活動を終えることができました。松山空港に近く「愛媛県を飛行機で訪れる方々にも満開の桜を！」との想いで癒しの森を目指すMt.LOVE 10プロジェクト。ぜひ皆様も足を運んでください。

（事務局　池田）

収穫感謝祭　開催

オイスカ綾川推進協議会では、11月16日(土)に、四国研修センターにおいて収穫感謝祭を開催しました。このイベントはセンターの秋の収穫が無事に終わったことを感謝して、毎年開催しているものです。

今年は、研修生5名が12月に研修が終了し帰国するため、研修生の送別会も兼ねて開催しました。会員20名、研修生、オイスカスタッフ総勢40名の催しとなりました。

帰国研修生のアクションプランを中心としたスピーチの後、懇親会が行われ研修生への励ましや、交流がおこなわれました。

アトラクションでは、研修生による各国のダンス、会員のマジックや皿回し等が披露されました。皿回しには、研修生やオイスカスタッフ、会員らが何回も挑戦するなど、全員が一体となって盛り上がり、意義深く収穫感謝祭を終了することができました。

（綾川推進協議会　会長　大方）

日本語能力試験に向けて・・・

私は日本語が大好きです。日本に来る前に、メキシコで2か月間勉強をしましたが、日本に来たらみんな話すのが早くて、全然わかりませんでした。最初の頃は本当に大変でした。四国センターに来て2か月間教えてもらいました。日本に来て9か月が経ちました。毎日、日本語で話しているので少しずつ分かるようになってきました。まだ香川の方言などはわかりませんが、日本語は面白いです。

12月1日(日)は、日本語能力試験が行われます。毎日新しい文法や漢字などを勉強しています。合格できるように頑張ります！（オリバ）

早明浦ダム　下草刈り

11月4日(月)、四国研修センター研修生と綾歌郡ライオンズクラブのメンバーで、高知県にある早明浦ダム付近で草刈り活動を行いました。その場所では、ライオンズクラブの方が18年前に植林し、これまで研修生と一緒に管理をしてきました。

早明浦ダムは、高知県土佐郡土佐町田井にあるダムで、四国地方最大のダムです。四国の水瓶として主に香川県の水源となっています。当日は、曇り空と高所も相まって、大変寒く感じました。

草刈り作業は、草刈り機を使う班と、草刈り鎌を使う班に別れ、木の周辺を丹念に行いました。研修生も慣れた手つきで草刈りを楽しんでいました。

その後、昼食は焼肉を頂きました。新鮮な地元のお肉と野菜を味わい、ライオンズクラブのメンバーとも会話が弾みました。（小原）

当時、植林をした木の選定をするイカ（マレーシア）

祝修了

令和元年オイスカ四国研修生　修了式
12 月 14 日(土)16 時～

地域開発研修生　イカ(マレーシア)・オリバ(メキシコ)・カティ(メキシコ)
ナバ(モンゴル)・アモス(パプアニューギニア)

5 名の修了式を行います。
研修生の成長した姿を、ぜひ目に焼き付けてください。

12 月の予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
12 月 1 日	日	日本語能力試験 遊びの館詰	公益財団法人　日本国際教育支援協会 未来創造プロジェクト実行委員会	高松市 みとよ未来創造館
12 月 4 日	水	綾川町立陶小学校　交流 支部常任幹事会、研修生送別会	綾川町立陶小学校 四国支部	綾川町立陶小学校 ホテルパールガーデン
12 月 6 日	金	香川県立高松北高校　交流	香川県立高松北高校	香川県立高松北高校
12 月 10 日	火	ソロプチミスト丸亀クリスマス例会	ソロプチミスト丸亀	オークラホテル丸亀
12 月 11 日	水	綾川町町長、香川県知事　表敬訪問	綾川町役場、香川県庁	綾川町役場、香川県庁
12 月 12 日	木	技能実習生配属	研修センター	三豊市山本町
12 月 14 日	土	オイスカ研修生修了式	研修センター	研修センター
12 月 16･17 日	月･火	アモス、イカ、ナバ、オリバ、カティ帰国	研修センター	成田空港、関西空港
12 月 25 日	水	森のつみき広場	高松市環境保全推進課	高松市立川島小学校
12 月 28 日	土	仕事納め	研修センター	研修センター

「FURUSATO！」12 月号　発行
公益財団法人　オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト
OISCA × VALUE BOOKS

広島県　視察研修

11月12日（火）、13日（水）に中部日本研修センターと四国センターの研修生が合同で広島県視察研修を行いました。
広島県での感想を研修生に書いてもらいました！

1日目は三原市にある、「果実の森公園」へ行ってリンゴ狩りをしました。パプアニューギニアにはリンゴの木がないので、初めて見ました。ここでは、自分で収穫をしてその場で食べることができる「観光農園」を営んでいます。4種類のリンゴがあり、1つ1つ味が違いました。私は黄色の「シナノゴールド」が一番おいしかったです。自分で収穫をして農業の楽しさを伝えることのできる、観光農園も面白いと思いました。
次に、広島平和記念資料館と平和記念公園へ行きました。資料館には、原爆が落ちたときの当時の写真などがあり、見ていて心が痛くなりました。平和の大切さを学びました。
夜は広島県支部の皆さんと懇親会をしました。たくさん話したり踊ったりして楽しかったです。（アモス）

～厳島神社～
鳥居は工事中でしたが、
とてもきれいな景色を見ることができました。

2日目は宮島へ行きました。宮島についたら、鹿がたくさんいました。とても可愛いかったです。厳島神社へ参拝に行きました。海の上に神社があるのでびっくりしました。鳥居は工事中だったので見ることはできませんでしたが、とても神秘的でした。紅葉もきれいで、とても自然があふれる場所でした。広島県で有名な「もみじ饅頭」も食べました。出来たては、とてもおいしかったです。
この2日間いろんな経験ができました。広島県支部の皆さん、どうもありがとうございました。メキシコに帰ってもこの思い出は忘れません。（カティ）

ピースボランティアの橘氏から、当時の悲惨さを教えてもらいました。

～原爆ドーム～

**広島県支部の方から
ご感想をいただきました！**

広島県視察研修の内容は、平和記念公園での平和学習と世界遺産宮島の見学です。
第二次世界大戦の末期1945年8月6日、人類史上初、核兵器が実践使用され、広島市へ原子爆弾が投下されました。その結果の悲惨な状況を資料館で体感し、ピースボランティアの説明を聞いた研修生。日々の生活では感じることのない経験をされたことでしょう。是非、其々のふるさとへ帰った際に、平和の大切さを伝えて頂きたいと思います。
1996年12月「厳島神社」が世界文化遺産として登録されました。厳島神社は、日本独自の文化を伝える優れた建築で、島全体が文化的景観を成しています。渡るフェリーからの眺めでその景観が感じられたと思います。周囲の環境と一体となった建造物群の景観は、日本人の美意識と精神文化そのものです。研修生も宮島の厳かな雰囲気を堪能されたことでしょう。
この研修は2003年から始まり、2014年から中部日本研修センターも参加することとなり、初日の夕方には懇親会を開催し、広島県支部のメンバーとの親睦を深めています。研修生とのふれあいは、とても新鮮で活力を頂けるとの言葉がでていました。
今後更に研修生とふれあえる機会が増えていって欲しいと感じています。（広島県支部　葉名）

研修センター紹介！
～オイスカファミリー全員集合～

9月に西日本センター、11月に中部センターの研修生が来所し、交流をしました。
今回は、2つのセンターの様子をご紹介します！

中部日本研修センター

愛知県中部日本研修センターには現在、バングラデシュ、フィジー、インド、マレーシア、パプアニューギニアの研修生がいます。内訳は農業研修生が3名、国際協力ボランティア研修生が2名です。農業研修では、稲や野菜、桃の栽培に加え、採卵鶏の飼育に取り組んでいます。また技能実習生も多く、3か国（マレーシア、ミャンマー、フィリピン）から40名の技能実習生を受け入れ、会員企業で実習させていただいています。学ぶ場所がオイスカの研修センターであれ、企業であれ、全ての研修生、技能実習生が、日本で学んだ技術を帰国後の活躍に生かせるよう、現地オイスカの研修センターと連携して研修に取り組んでいます。養豚農家で学んだ技能実習生が帰国後に豚の人工授精に成功するなど、嬉しい報告も届いています。
（中部日本研修センター　安部）

←オイスカの国際理事と交流する
国際協力ボランティアの
ノイ（マレーシア）：右から二人目

ジャガイモの収穫をする
フランシス
（パプアニューギア）→

西日本研修センターの大イベントに参加！

11月8日（金）～9日（土）にかけて、「第11回　オイスカ収穫感謝祭・秋」（テーマ：アジアを体感！）を視察研修のため福岡市早良区にある西日本研修センター（以下、センター）を訪問しました。
6年前から大相撲の高田川部屋が、九州場所の宿舎としてセンターを利用しています。現在幕内では、竜電と輝の2人が活躍しています。九州場所が始まる前日の土曜日に所属する力士22人も参加して、午前10時から盛大に収穫感謝祭が行われました。今年も1500人を超える参加者が、あったそうです。
今回は、紙面の関係でバザーについて書かせていただきます。バザーも、たいへんバラエティーに富んだ出店がありました。
特に高田川部屋の「ちゃんこ」と猪の丸焼き「レチョン」は、大人気でした。「ちゃんこ」は、塩味で季節の野菜や鳥肉と豚肉のミンチで作ったつみれを入れたもので、絶品でした。用意した2000食が、午後1時前には完売でした。私もおいしくて、3杯いただきました。
「レチョン」は、センター附近で捕獲した猪を3匹さばいて、早朝の4時過ぎから研修生や技能実習生が交代で、7時間かけて丸焼きにしたものです。焼けた肉を細かくナイフで切り、猪のレバーをペースト状にして調味料を加えてソースを作り、それを肉にかけて食べます。「これも、美味い！生きてて良かった。」
来年は、希望があれば四国支部の会員さんと一緒に行く「収穫感謝祭体験ツアー」を計画したいと思います。（小野）

人気の猪の丸焼き。
手間をかけて、おいしく出来上がりました。

関取「輝」とハイポーズ！